



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和8年4月23日に本校6年生45名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、結果がまとまりましたのでご報告いたします。

本調査では、国語科・算数科の2教科の学力テストに加え、家庭での過ごし方や学習時間など、生活習慣に関するアンケートも行われました。これらの結果を通して、子どもたちの学力と生活習慣との関係を把握し、今後の教育活動に活かしてまいります。

総合結果(国語科・算数科・)

基礎的な知識や技能はおおむね定着していることがうかがえました。一方で、複数の情報を関連付けて考えたり、根拠を明確にして自分の考えを表現したりする力には課題が見られます。今後も、対話や問題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいきます。

国語科より

国語科では、漢字の読み書きや文章の特徴を捉える力、文章を読んで自分の考えをまとめる力などについて、おおむね良好な結果が見られました。特に、文章の内容を理解したり、自分の経験と結び付けて考えたりする力が身に付いています。一方で、資料や文章を基に考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることや、複数の情報を関連付けて読み取ることには課題が見られました。

今後は、文章や資料から必要な情報を読み取り、それらを関連付けて考える学習を充実させるとともに、根拠を明確にして自分の考えを伝え合う活動を大切にしていきます。また、作文や発表の機会を充実させ、目的や相手に応じた表現力の向上を図ります。読書活動や日常的な言語活動にも継続して取り組み、考えを豊かに表現する力を育てていきます。

算数科より

算数科では、小数や分数の理解、図形の性質に関する基礎的な内容について、おおむね身に付いていることがうかがえました。また、割合や数量の関係をを用いて考える問題や、日常生活と関連付けて考える問題でも力を発揮している様子が見られました。

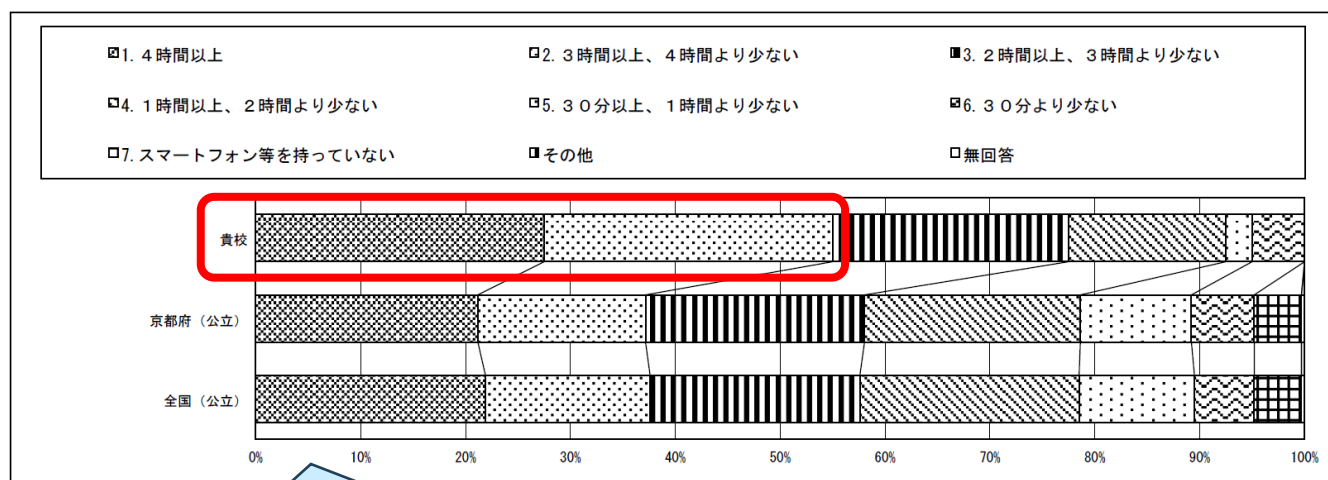
一方で、体積や概数の理解、単位量当たりの大きさや割合の関係など、学習した内容を活用して考える問題や、表やグラフから必要な情報を読み取り、判断する問題には課題が見られました。

今後は、既習事項の確実な定着を図るとともに、図や表、グラフなどを活用しながら数量の関係を筋道立てて考える学習を充実させていきます。また、式や図を用いて考え方を説明したり、友達と考えを交流したりする活動を通して、数学的に考え表現する力を育成していきます。さらに、日常生活と関連付けた問題解決活動を取り入れ、学んだことを活用する力を高めていきます。



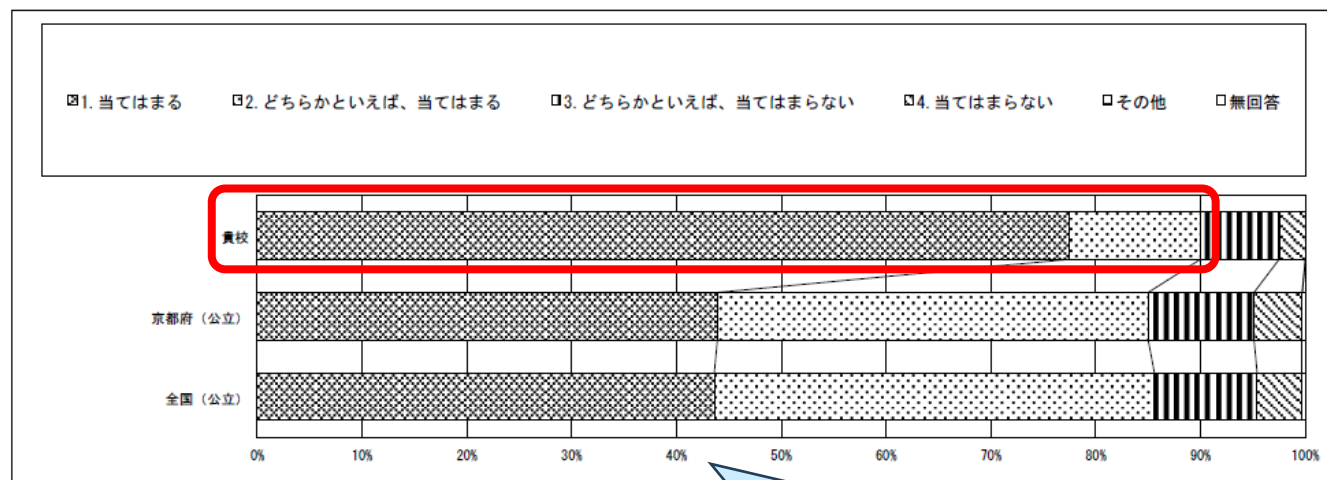
児童質問紙調査から

Q 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



平日のスマートフォンやタブレット等による SNS・動画視聴の時間については、全国や京都府と比べて長い傾向が見られました。長時間利用は睡眠や家庭学習時間、生活リズムに影響を及ぼすことも考えられるため、学校でも情報モラル教育の充実を図るとともに、家庭と連携しながら適切な利用習慣の定着に努めていきます。

Q 自分には、よいところがあると思いますか



「自分にはよいところがある」と感じている児童の割合は高く、多くの児童が自分のよさや成長を前向きに捉えていることが分かりました。今後も、一人ひとりのよさを認め合う学級づくりや体験活動を大切に、自己肯定感や自己有用感のさらなる向上を図っていきます。

【全体を通した本校の成果と課題】

本校では、学校教育目標「学びをくらしに活かす子どもの育成 ～学び合い、高め合う集団づくりを通して～」のもと、日々の教育活動を進めています。

今回の調査結果からは、国語・算数ともに基礎的な知識や技能がおおむね身に付いていることが分かりました。また、「自分にはよいところがある」と感じている児童の割合が高く、自分のよさを認めながら前向きに学校生活を送っている児童が多いことも、本校の強みとして捉えています。

一方で、学習面では、複数の情報を整理して関連付けながら考えることや、自分の考えを根拠とともに相手に分かりやすく伝えることに課題が見られました。また、質問紙調査からは、スマートフォンやタブレット等の利用時間が長い傾向もうかがえました。

本校では「対話する力」の育成に重点を置いて取り組んでいます。今年度も、自分の考えをもち、仲間との対話を通して互いに高め合う子どもの育成を目指し、授業改善を進めています。自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いて学びを深めたりする活動を充実させることで、思考力・判断力・表現力の向上につなげていきます。

【保護者の皆様へ】

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習・生活の様子を把握し、今後の教育活動の改善に生かすことを目的として実施されています。結果は学力の一側面を示すものであり、子どもたち一人ひとりの力を多面的に捉えるための資料として活用しています。

今回の結果からは、子どもたちの基礎的な学力の定着や自己肯定感の高さなど、多くのよが見られました。一方で、自分の考えを根拠をもって伝える力や情報を活用して考える力、生活習慣の面には引き続き取り組むべき課題も見られます。

学力の向上や健やかな成長には、学校での学びだけでなく、家庭での生活習慣や日々の関わりも大きく影響します。今後も学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちが自ら学びに向かい、仲間と学び合いながら成長していけるよう取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

